

実施状況（令和5年度）

令和5年度は、自転車交通安全対策重点推進地域に指定した市町等所在の高等学校計5校において実施し、2,644人の高校生が参加しました。

実施後のアンケート調査では、「スケアード・ストレイトと今まで受講した交通安全教室や講話等と比較してどうか」との間に対し、99.1%の生徒が「とてもよかった・まあまあよかった」と回答しています。

また、「仮想交通事故を見て、自転車の走行をもっと注意しなければならない」と感じた生徒が 98.9%にのびりました。

教室を受講した生徒からは、他にも

「ヘルメットの大切さが分かった。」

「事故はとても怖いものだと思った。普段から気をつける。」

「毎日通る道でも油断せず、気をつけようと思った。」

といった声が寄せられています。

【実演状況】

時速40km/hでの衝撃実験



実際にあった事故事例再現



ドア開放事故



他の主な演目

- ・自転車の乗り方マナー
- ・歩行者用道路での自転車事故
- ・横断歩道での事故
- ・左折巻き込み事故（対大型車）
- ・大型車の死角実験
- ・電動キックボードの正しい乗り方